

調査旅費支出一覧

年 月 日	支 出 内 容	金 額
21,11,17 ~11,19	宮崎市・鹿児島市 行政調査の費用	648,750円
	合 計	648,750円

第6号様式・その2

調 査 報 告 書

出張期間	平成21年11月17日から平成21年11月19日まで(2泊3日)
出張先	宮崎市 鹿児島市
出張者氏名	秋山雅司 中山善雄 渡辺礼子 内藤 泉 兵道顕司
調査研究項目	宮崎市 — 「校庭の芝生化」 について 鹿児島市 — 「公共施設の屋上・壁面緑化」 について 「環境未来館」 について

第6号様式・その3

調 査 経 費 内 訳

項 目	金 額	備 考
旅 費	648,750円	1人 129,750円×5人分 (別紙旅費計算書による)
合 計	648,750円	

※ 旅費は、旅費計算書(第4号様式)を添付すること。  
(領収書不要)

※ 旅費以外の項目は、調査のため必要と認められる  
経費の項目を記入すること。(領収書裏面添付)

会派代表者印	経理責任者印
●	●

# 公明党行政視察報告書

## 1 日程

平成21年11月17日（火）～19日（木）

## 2 視察事項及び視察先

- (1) 校庭の芝生化について  
（宮崎県宮崎市）
- (2) 屋上緑化及び壁面緑化について  
環境未来館について  
（鹿児島県鹿児島市）

## 3 視察参加者

市議会公明党

秋山雅司 中山善雄 渡辺礼子  
内藤 泉 兵道顕司 以上5名

## 4 視察の内容

### (1) 校庭の芝生化について

#### ○経緯

- ・学校の校庭について、これまで土の入れ替え等により近隣住宅への砂塵被害を極力防止する努力を重ねてきたものの、苦情が絶えなかったため、文科省の「屋外教育環境整備事業補助金（補助率1/3）」を使って、芝生化に踏み切った。
- ・中学校については、部活で常時使用するため、管理が大変なことから、小学校校庭の芝生化を計画した。
- ・平成19年度～20年度で4校実施。  
事業費は概ね10,000千円強。

○管理の状況

- ・学校、PTA、地域の支援組織を立ち上げ、維持管理を自分たちで行うシステムを構築している。
- ・土日には地域へ施設開放を行っているが、使用団体に対して、維持管理への参加を要請している。

○今後の計画

平成 25 年度までに 8 校を予定。

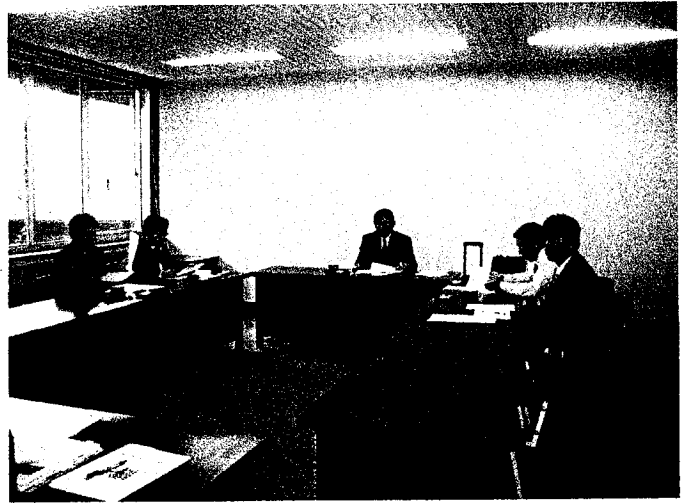
○芝生化の効果

- ・砂塵防止及びヒートアイランド防止につながること。
- ・屋外で遊ぶ児童の増加、けがの減少

< 考察 >

- ・現地視察した 3 校について、次のような状況が明らかとなった。
- ・工事期間及び芝の養生期間中は校庭を使用できないため、代替施設を確保する必要がある。
- ・芝の養生が十分でないうちに使用すると芝がどうしても傷んでしまう。
- ・施設開放が土日に限られているため、今のところは大きな傷みはない。
- ・管理については、芝生化して日が浅いこともあり、今のところは大きな課題に直面してはいないが、今後、芝の禿げる部分が出ることも予想されることから、対応について今のうちから考える必要がある。
- ・いずれにしても、初期導入費用、維持管理コストを勘案し、導入による効果を的確に検証していくことが必要と考えられる。

< 宮崎市での視察状況 >



市役所での聴き取り

現地視察の  
状 況



## (2) 屋上緑化及び壁面緑化について

### ○経緯

- ・ ヒートアイランド防止、省エネ等の見地から、屋上緑化、壁面緑化を進めるため、平成18年7月から、補助金制度を導入。
- ・ あわせて、市庁舎本館屋上に5種類の緑化基盤材を使用した緑化スペースを設置し、民間の屋上緑化に対する参考例として提供している。

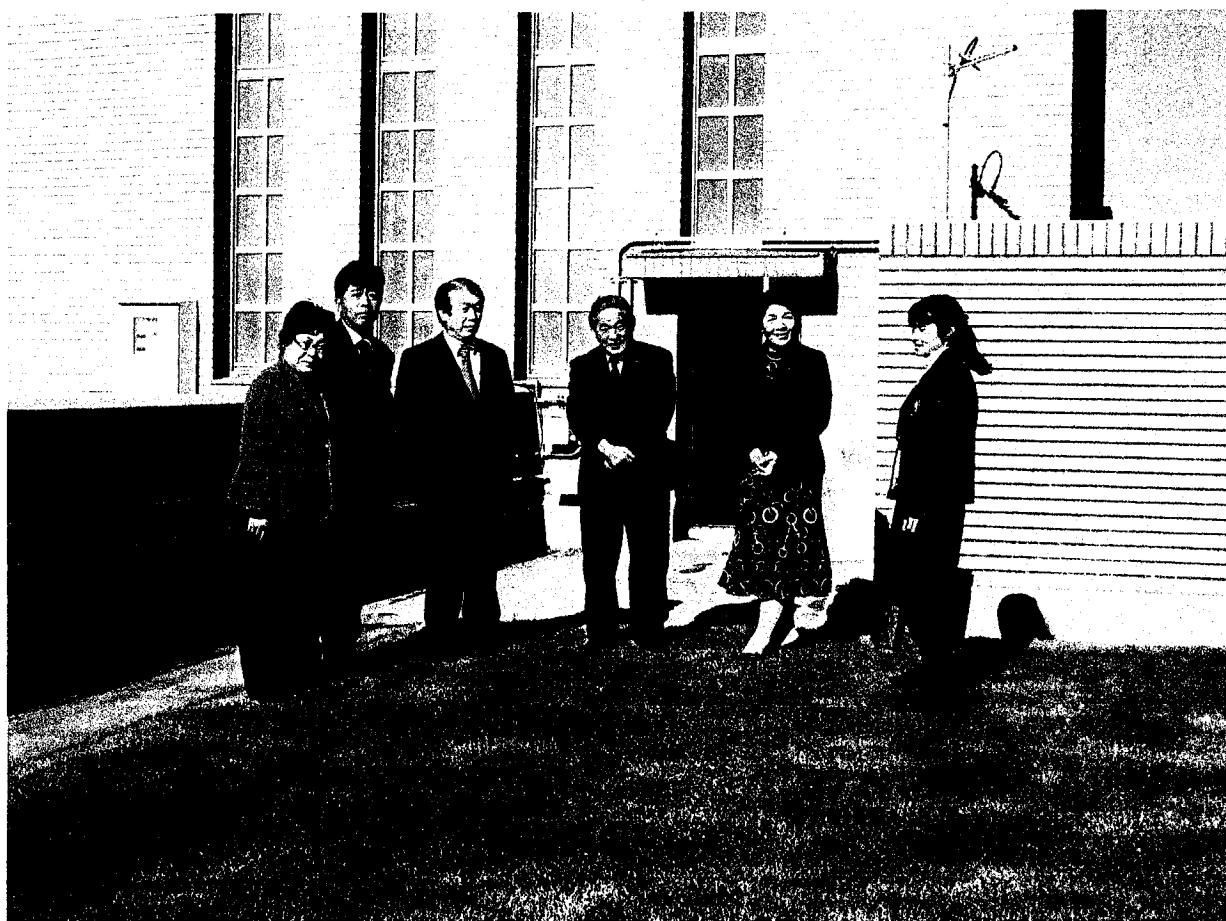
### ○事業内容

- ・ H18から予算額約8,000千円で、屋上緑化、壁面緑化を行う民間建築物に対し補助を実施。
- ・ 補助金の額
  - 1 m<sup>2</sup>当たり 20,000円以内
  - 補助対象経費の1/2を補助
  - 1件当たり500千円を限度
- ・ 市単独事業で実施

### <考察>

- ・ 補助制度の導入は、九州のなかでは遅い方だということである。
- ・ 市庁舎の屋上緑化スペースを設置することにより、民間建築物の緑化促進を図っており、温暖化防止に対する当局の意気込みが感じられる。
- ・ 鹿児島特有の天然資源「シラス」を基盤材に使用することにより、マイナスイメージに捉えられていた、桜島の火山灰の有効活用策を見出そうとしており、この点で、一般廃棄物の焼却灰のスラッグの活用策を考えることにも通じる。

< 鹿児島市役所での視察状況 >



### (3) 環境未来館について

#### ○経緯

- ・ H20 に総事業費 4 2 億円で整備
- ・ 旧鹿児島実業高校の跡地に建設
- ・ 環境に関する関心や理解を深め、日常的な環境保全活動を促進することを目的

#### ○内容

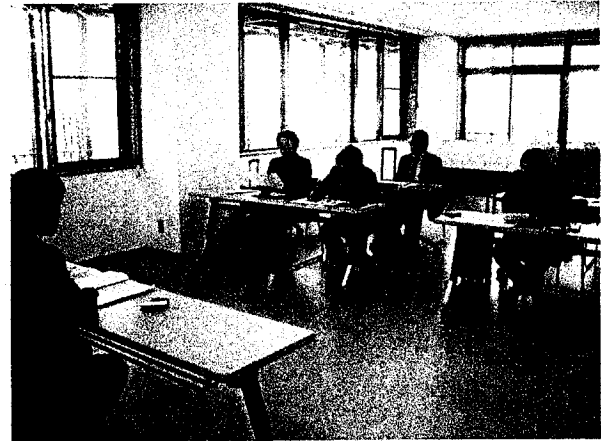
- ・ 4ゾーンにわたる展示により、環境学習、情報提供、リサイクル活動の促進につながると構成されている。
- ・ 建物自体も緑化や自然利用などの工夫がされ、環境に関するシンボリックなものとなっている。

#### <考察>

- ・ 事業費 4 2 億円のうち、まちづくり交付金 4 0 %、合併特例債 4 0 %、一般財源 2 0 %の財源構成。
- ・ 今のところ直営で維持管理を行っているが、将来的には、指定管理者の導入も視野に入れている。
- ・ 維持管理経費は年間 100,000 千円で、うち 70,000 千円が人件費。
- ・ 嘱託職員 19 名が講座、展示の企画を行っているが、クオリティが高い。
- ・ 1 年間の目標 8 万人に対して 28 万人の来館者があり、この種の施設では驚異的な数字である。
- ・ 年 4 回発行の未来館だよりも内容が濃く、しっかりとした情報提供システムが出来上がっている。
- ・ 市当局の「環境」に対する取り組み姿勢がここでも感じられる結果となっている。



＜環境未来館での視察状況＞



展示ゾーンにて

屋上緑化にて

